

# 広域観光組織を中心とした周遊・滞在型観光の推進

## 【現状】

- ・広域観光組織が中心となり、マーケティングに基づく戦略的な観光地域づくりに取り組み始めている ⇒ 域内消費の拡大に向けた、周遊・滞在型観光の推進
- ・コロナ禍により旅行ニーズや旅のスタイルが変化してきている  
⇒ 旅行の少人数化、旅行計画の立て方の変化、サステナブルな旅行のニーズなど

## 【課題】

- ・広域観光組織の取り組みにおける、PDCAサイクルの強化
- ・旅行の少人数化等に対応した、観光コンテンツの高付加価値化の取組の推進
- ・宿泊施設のさらなる魅力向上
- ・観光分野におけるSDGsの達成を目指すサステナブルツーリズムの取組の推進

## ◆デジタル化の促進

### 新 デジタルデータを活用した地域観光マーケティング支援

- ⇒観光客の移動経路や滞在時間等の分析データを広域観光組織へ提供
- ⇒分析結果を活用した、広域観光組織での効果検証や事業化(PDCAサイクル)を支援

- ※観光地域づくり人材育成事業においても、デジタルマーケティングアドバイザーの派遣による広域観光組織の地域観光マーケティングを支援

### 広域観光組織(DMO等)

地域の自然と暮らし、産業などの資源を生かした体験等を組み合わせた周遊・滞在型観光を推進する舵取り役



エリア全体のマーケティングに基づく、地域が主体となった地域の強みを生かした戦略的な観光地域づくりを推進

※県内6広域観光組織(うちDMO:3組織、候補法人:1組織)

## ◆体制及び機能の強化

### 県版地域おこし協力隊による体制及び機能の強化

- ⇒DMO及び候補DMOに、マーケティング及びマネジメントを担当する人材を配置
- ※幡多、仁淀川、物部川、東部に各1名

### 観光地域づくり人材育成事業

- ⇒滞在型観光プランづくりを通じて、観光地域づくりを担う人材を育成
- ⇒デジタルマーケティングアドバイザーを派遣し、広域観光組織の地域観光マーケティングを支援
- ※県内6広域観光組織

## ◆高付加価値化の取組

### 新 宿泊施設の魅力向上のための取組を支援

- ⇒アドバイザー派遣等により、地域ならではの食やおもてなしといった宿泊施設の高付加価値化を支援

### 拡 高付加価値の観光商品づくりを支援

- ⇒土佐の観光創生塾に商品の高付加価値化を支援するコースを創設

コンテンツの組み入れ

## 拡充 広域観光組織による滞在型観光プラン整備計画に基づく観光プランづくりの推進

＜取り組み例：東部地域＞

宿泊施設を起点とした周遊・滞在促進による域内消費の拡大(観光コンテンツの充実と宿泊施設・二次交通との連携)



コンテンツの組み入れ

## ◆サステナブルツーリズムの取組

### 新 サステナブルを切り口にした高知観光のプロモーションの実施

- ⇒日常そのものがサステナブルである高知の強みをSNS等で発信し、「高知＝サステナブル」というイメージを醸成

### 新 サステナブルツーリズムを意識した観光商品づくりを支援

- ⇒モニターツアーの実施やセールス支援等により、サステナブルな旅行ニーズに対応する観光商品の造成を支援

広域エリア内の周遊により、長く滞在することを促し、地域でより消費してもらうことを目指す